

# 令和5年度 事業報告

令和5年度は、コロナ期における健康診断受診控えからの回復に努め、住民及び事業所職員の健康増進と受診者確保による経営の安定化に引き続き取り組むとともに、健診事業体制の維持継続に向けた健診料金の一部改定や高額機器等の計画的更新を進めた。また、地域に求められる優秀な看護師を育成、輩出するために、対象学生数が減少する厳しい状況ではあったが、学生の確保及び看護師国家資格の取得に向け鋭意取り組んだ。

事業運営の大きな柱である「健診事業の推進、公益法人の運営」及び「看護師養成事業の推進」の取組み状況及び成果を概括すると次のとおりである。

## 1 健診事業の推進、公益法人の運営

### (1) 経営に係る健診実施体制の強化

#### ア 受診者の確保

健診事業のうち、総合健診、住民健診、がん検診等において受診者数が増加した。

これは、自治体や健康保険組合と連携して、人間ドック経年受診者や未受診事業所・団体に向けての受診勧奨を推進し、これに対応して受入枠の確保や実施体制を整備したことによるものである。特に、閑散期(1～3月期)における施設稼働率向上のための営業活動を強化し、これらの取組みの結果、昨年度を上回る受診者数の確保につなげることができた。

一方、職域健診では、定期健康診断から検査内容が充実する総合健診への移行が進んだことなどにより、また学校保健では、児童生徒数の減少などにより受診者数が減少となった。

これらにより、事業収益は10億2,464万7千円と、昨年度を730万4千円上回り、目標としたコロナ期以前の令和元年度収益(10億5,745万2千円)の約97%まで回復することができた。

#### 【健診区分別事業実績】

(単位:人)

区 分	令和5年度 (前年度比)	令和4年度
1 総合健診 ・人間ドック・協会けんぽ健診 ・生活習慣病健診等	23,409 (248)	23,161
2 職域健診 ・定期健康診断・特殊健診 ・ストレスチェック	27,599 (-1,414)	29,013
3 学校保健 ・児童・生徒(心電図・胸部X線) ・公立学校生徒(尿検査)	11,446 (-582)	12,028
4 住民健診 ・特定健康診査・健康診査(後期高齢者、 社保被扶養者等)	21,735 (887)	20,848
5 がん検診等 ・肺がん・胃がん・大腸がん ・子宮がん・乳がん・前立腺がん	54,529 (1,540)	52,989
6 その他 ・特定保健指導・依頼検査他	671 (-54)	725
合 計	139,389 (625) 1,024,647千円 (7,304千円)	138,764 1,017,343千円

#### イ 健診料金の改定

近年の諸経費高騰や固定費の上昇に対応し、将来に渡り健診事業を円滑に実施していくため、さらには県内他健診機関の料金改定の状況も鑑み、自治体、事業所と調整を重ね、令和6年度からの住民健診、事業所健診等の料金単価の一部引上げに向けた取組みを行った。

#### ウ 高額機器等の更新

平成26年のセンター移転を機に整備した多くの高額健診・検査機器が、今後更新時期を迎えるにあたり、機器の状態を判断しながら更新計画を定め、将来的な財政負担の平準化を図った。これに基づき、令和5年度はX線CT診断装置の更新整備を行った。

#### エ 新制度への対応及び検診実施体制の強化

令和6年度から適用される、第4期特定健診・特定保健指導に対応したシステム改修を行うとともに、ホームページをリニューアルし、健診予約空き状況を提供するなど、利用者により使いやすい内容に更新した。

### (2) 知識・技術力の向上、精度管理

検診スタッフの技術力向上を図るため、外部機関の研修会などに積極的に参加する機会を増やし、健診に関する最新の知識、情報を収集し、職場にフィードバックを行うことにより、組織全体の能力向上及び職場活性化を進めることができた。特に、技術部門職員が、外部機関が行う資格試験(マンモグラフィ検査、超音波検査)においてA評価を取得し、スキルアップに繋げることができた。

また、各種検査精度管理事業に参加して高評価を得ることにより、精度向上による検査レベルの向上が図られた。

### (3) 公益法人の運営

ア 理事・監事の改選に伴い新しい役員体制となり、理事会における審議並びに監事による業務状況及び財務処理に対する監査により、適正な事業を執行することができた。また、所管行政庁に対する各種報告等についても、過誤や遅滞がなく手続きを進め、承認を得ることができた。

イ 継続して経費の節減や業務の効率化等、支出管理の徹底に努め、費用削減を推進した。

ウ 人材育成においては、新入職員に接遇マナーと電話対応の基礎を習得する機会を設けるとともに、多くの職員を対象にAED取扱講習(普通救命講習会)を実施し、緊急時の救命技術を身に着けることができた。さらには、個人情報保護に関する研修を実施し、職員のデータ管理に対する意識を高めた。

エ 健診データのバックアップ体制を二重化し、万が一の外部攻撃の際に、保存データによる業務継続が可能となる環境を構築した。

## 2 看護師養成事業の推進

### (1) 看護師の養成、教育内容の高度化

ア 令和5年度は、看護師養成3年課程に移行してからの2回生となる、卒業生64人を医療の現場に送り出した。

#### 【令和5年度 学生数】

区 分	1年生	2年生	3年生	計	備 考
年度当初	65人	55人	71人	191人	令和5年度卒業生 64人
定 員	80人	80人	80人	240人	令和6年度新入生 49人

卒業生累計 1,804人

イ 令和5年度看護師国家試験の合格者は、卒業生54人、既卒者1人で、全体の合格率は79.7%であった。試験対策として、成績下位者には目標を設定して定期的に面談を行いながら、主体的に学習できる環境を整備し、学びを支援した。

#### 【第113回看護師国家試験結果】

区 分	受験者	合格者	合格率	全国平均合格率
新卒者	64人	54人	84.4%	93.2%(前年度95.5%)
既卒者	5人	1人	20.0%	30.4%(前年度37.1%)
計	69人	55人	79.7%	87.8%(前年度87.8%)

ウ タブレット端末を活用したわかりやすい授業を進めつつ、社会の多様な価値観に対応できる専門職業人としての倫理観と豊かな人間性を有し、地域医療をはじめ広い分野で活躍できる看護師育成への取組を進めた。

臨地実習については、新型コロナウイルス感染症が終息傾向にあったが、日ごろからの体調管理と行動制限などに細心の注意を払い、実習に取り組んだ。一部学内実習としたところもあったが、その他の領域別臨地実習は、施設の協力のもと抗原検査等を行いながら実施できた。

#### 【年間行事】

区 分	開 催 日	内 容
入 学 式	令和5年 4月5日	入学者数57人(4回生)
学 校 説 明 会 (オープンキャンパス)	令和5年 6月1日 ～令和6年3月21日	10回開催(令和4年度は9回)
推 薦 入 学 試 験	令和5年10月3日	34人受験、全員合格
講 師 会	令和6年1月16日	成績について
一 般 入 学 試 験	令和6年1月23日	18人受験、全員合格(うち入学は14人)
(二次募集試験)	令和6年2月13日	2人受験、全員合格(うち入学は1人)

## (2) 学生の確保

少子化が進み年々学生の確保が難しくなっている状況において、新たな学校紹介ビデオの作成、広報媒体の積極的な活用、高等学校訪問の強化、魅力を感じられるオープンキャンパスへの見直しなど、より多くの学生確保に向けた活動を行った。また、近年受験生が増加しているいわき市の高等学校に対し希望調査を行い、一般推薦対象校に4校を指定した。

推薦及び一般入試の結果、入学辞退などもあり定員の80人に満たなかったことから、二次募集、さらに三次募集を実施した。これらの結果、令和6年度の入学者は、推薦入学34人、一般入学15人の合計49人であった。

### 【令和6年度入学試験 試験区分別入学者】

区分	試験区分	入学者数	備考
推薦入学	指定高等学校推薦	20人	15校中8校から入学
	一般高等学校推薦	2人	21校中2校から入学
	地域特定推薦	12人	日立市11人、高萩市1人
一般入学		15人	二次募集1人含む
合計		49人	(男性9人、女性40人)

## (3) 魅力ある学校づくり

看護への責任と誇りを自覚し資質の高い看護師への成長を誓うため2年生が宣誓式を行い、新聞広告一面で紹介することなどにより、本校の魅力を広く紹介することにつながった。

1年生及び2年生を対象に、学生相互及び学生と教職員の交流を図るため、初めての試みとして、ソフトバレーボール大会を実施し、8チーム、106人が参加して、賑やかに絆を深めることができた。

3年生については、看護師国家試験に向けた激励会を予定したが、台風13号の影響により中止とした。

## 3 その他

### (1) 日立市休日緊急診療所

日立市医師会、日立薬剤師会及び日立市地域医療対策課等が連携して、本部隣に新たに設置した発熱外来診察所について、待合所の環境改善や感染予防策の対応を支援した。

## 4 主な会議の開催状況

### (1) 理事会、評議員会等

区 分	開 催 日	主 な 議 案
第1回事業運営委員会(持ち回り決議)	令和5年5月17日	・令和4年度事業報告(案)について
第1回総務会計委員会(持ち回り決議)	令和5年5月17日	・令和4年度決算(案)について
第1回理事会	令和5年5月22日	・令和4年度事業報告及び決算の承認について ・評議員の任期満了に伴う候補者の推薦について ・理事・監事の任期満了に伴う選任案について
第1回評議員選定委員会	令和5年6月5日	・評議員の任期満了に伴う選任について
定時評議員会	令和5年6月12日	・令和4年度事業報告について ・令和4年度決算について ・理事・監事の任期満了に伴う選任について
第2回理事会	令和5年6月12日	・理事長・副理事長の選定について ・理事の委員会担当について
第3回理事会	令和5年9月11日	・評議員の辞任に伴う後任評議員候補者の推薦について
第2回評議員選定委員会	令和5年9月22日	・評議員の辞任に伴う後任評議員の選任について
第4回理事会	令和5年12月4日	・評議員の選任結果について ・令和6年度看護専門学校推薦入学試験結果について
第2回事業運営委員会(持ち回り決議)	令和6年3月1日	・令和6年度事業計画(案)について
第2回総務会計委員会(持ち回り決議)	令和6年3月1日	・令和6年度収支予算(案)について
第5回理事会	令和6年3月11日	・令和6年度事業計画(案)について ・令和6年度収支予算(案)について ・看護専門学校校長・副校長の選任について

### (2) 各種専門委員会

区 分	開 催 日	主 な 議 案
胸部読影審査委員会	令和6年3月8日	・令和5年度実施状況について ・令和4年度実績について
胸部CT検診読影審査委員会	令和6年3月19日	・令和5年度実施状況について ・令和4年度実績について

### (3) 看護専門学校運営委員会

区分	開催日	主な議案
第1回	令和5年4月19日	・令和5年度収入支出予算、職員体制について ・令和6年度入学試験、令和5年度成績による特待生の選定、学校評価について
第2回	令和5年6月14日	・日立メディカルセンター新体制、看護専門学校事業及び決算報告、看護専門学校後援会事業計画について
臨時	令和5年7月11日	・一般校推薦対象校(いわき市4校)の追加について
第3回	令和5年11月15日	・令和6年度推薦入学試験結果、後援会事業中間報告、学校紹介ビデオ制作について ・ハラスメントの防止等に関する規程の制定について
第4回	令和6年2月21日	・令和6年度入学試験結果について ・令和5年度進級結果及び卒業審査、卒業生表彰の選考、学則施行細則等の改正、令和6年度事業計画について

## 5 役員・各種委員会委員名簿

### (1) 理事・監事

(敬称略・順不同)

区分	氏名	所属機関
理事長	佐々木 栄一	佐々木胃腸科外科
副理事長	中 廣 一 善	根道ヶ丘クリニック
理事	末 永 仁	日立港病院
	瀬尾 文 洋	瀬尾医院
	西野 弘 美	西野医院
	島 田 裕	島田外科医院
	加藤 貴 史	ひたち医療センター
	嶋崎 陽 一	日立厚生医院
	佐藤 明 善	聖麗メモリアル病院
	若林 千津子	茨城キリスト教大学
	中島 貞 子	茨城県看護協会
	酒向 晃 弘	(株)日立製作所日立総合病院
	石川 晶 久	石川内科ファミリークリニック
同(常務理事)	崎原 春 幸	日立メディカルセンター
	國 井 茂	日立メディカルセンター
監事	田 村 讓	田村内科医院
	黒澤 修 一	黒澤税理士事務所

### (2) 評議員

(敬称略・順不同)

区分	氏名	所属機関
評議員	蛭田 三 雄	日立市議会議長
	今野 幸 樹	日立市議会教育福祉委員長
	鈴木 邦 彦	茨城県医師会長
	星野 寿 男	日立市医師会長
	横倉 稔 明	多賀医師会長
	小林 肇	常陸太田市医師会長
	渡辺 泰 徳	(株)日立製作所日立総合病院長
	立原 正 仁	日立歯科医師会長
	阿内 一 彦	日立薬剤師会長
	井澤 智 子	茨城県日立保健所長
	松本 正 生	日立市保健福祉部長
	鈴木 克 彦	北茨城市市民福祉部長
	小森 裕 之	高萩市健康福祉部長
	中嶋 みどり	常陸太田市保健福祉部長

## (3) 総務会計委員会

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名
委員長	中 廣 一 善
副委員長	嶋 崎 陽 一
委 員	瀬 尾 文 洋
	加 藤 貴 史

区 分	氏 名
委 員	若 林 千 津 子
	中 島 貞 子
	國 井 茂

## (4) 事業運営委員会

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名
委員長	末 永 仁
副委員長	島 田 裕
委 員	西 野 弘 美
	佐 藤 明 善

区 分	氏 名
委 員	酒 向 晃 弘
	石 川 晶 久
	崎 原 春 幸

## (5) 評議員選定委員会

(敬称略・順不同)

区 分	氏 名
外部委員	伊 藤 修 一
外部委員	曾 川 誠 一
評議員	立 原 正 仁

区 分	氏 名
監 事	田 村 讓
事務局員	國 井 茂

## (6) 各種検診専門委員会

(敬称略・順不同)

区 分	委 員 名
A 胸部読影審査委員会	◎森川 聡、大塚 尚、田村 讓、中廣一善、遠藤勝幸、名和 健、根本義勝、島内正起、天田敦子、市村秀夫、山本祐介、根本健司、清水 圭
B 胃部読影審査委員会	◎太田代安律、佐藤忠夫、西野弘美、河野史尊、平井信二、堀田総一、安東治彦、鴨志田敏郎、末永 仁、石川演美、嶋崎陽一、佐藤貴也、川崎俊一、佐々木栄一、田村 博、新島光起、石川晶久
C 心臓病検診判定審査委員会	◎樋口甚彦、江尻成昭、佐藤美智子、星野寿男、鈴木章弘、古橋杏輔、福島由起夫、遠藤洋子
D 骨粗しょう症検診委員会	◎樋口安彦、田村 讓、島田 裕
E 乳がん検診委員会	◎太田代紀子、福田禎治、倉持正志、原 潔、伊藤吾子、三島英行、酒向晃弘、朝日理央、高野絵美梨、永井絵林
F 総合健診委員会	◎佐藤忠夫、西成田眞、樋口安彦、瀬尾文洋、根本義勝、嶋崎陽一、尾川 武、川西和成、河野史尊、早乙女俊一、西野弘美、伏屋陽子
G 前立腺がん検診委員会	◎天谷龍夫、石川 悟、堤 雅一、出口正夫、遠藤 剛、松井祐輝
H 腹部超音波検診読影審査委員会	◎佐藤忠夫、太田代紀子、末永 仁、川西和成、大森健夫、原 潔、嶋崎陽一
I 胸部CT検診読影審査委員会	◎遠藤勝幸、森川 聡、根本義勝、林原賢治、青木弘道、中山雅之、名和 健、中廣一善、野寺博志、天田敦子、市村秀夫、根本健司
J 子宮がん検診委員会	◎樋口安彦、瀬尾文洋、鴨志田和久、福地秀行



(7) 看護学校運営委員会

(敬称略・順不同)

区分	氏名
委員長	末 永 仁
委員	嶋 崎 陽 一
	千 葉 一 博
	立 花 久 弥
	後 藤 重 史
	川 島 玲
	大 山 眞
	田 村 博

区分	氏名
委員	天 谷 龍 夫
	伊 藤 修 一
	國 府 田 ヒロ子
	國 井 茂
	宮 本 康 子
	小 貫 三 佳
	関 根 博 之

